



伊豆市立天城中学校

10月9日(水)～11日(金)の3日間、伊豆市立天城中学校の2学年生徒1名の職場体験学習を実施しました。

これは「進路学習」の一環として総合的な学習の時間に実施されているもので、伊豆森林管理署では毎年数名の生徒を受け入れています。今年の様子をお伝えします。

伊豆署で職場体験！



全日とも狩野森林事務所管内(伊豆市湯ヶ島ほか)の国有林にて実施しました。

1日目は、国有林の図面の見方や境界巡検(国有林と民有地の境にある杭を確認する作業)についての説明の後、ポケットコンパスという測量器具を用いて不明な杭を探す作業を行いました。

2日目は、木を伐採または売り払う際に、対象となる木を選ぶとともにその樹種や材積(木材の体積)、材質等を調査するために行う「収穫調査」を実施し、木の直径や樹高等の



測量器具の据え付けに苦労しました

測定を行ったほか、調査結果のとりまとめも行いました。

最終日の3日目は、人工林において、植栽木以外の雑木や成長不良の植栽木を伐採し、残りの木々の成長を促す「除伐」と呼ばれる作業を実施したほか、シカの食害防止のための防護柵や、伐採した木を一時的に集めて置いておく「土場」等の見学も行いました。

3日間という短い期間でしたが、森林管理署の主な仕事について一通り体験してもらえたのではないかと思います。参加した職員の側からしても、なかなか内容が濃く、生徒も大変だったと思いますが、一生懸命まじめに取り組んでもらえてうれしかったです。

また来年も、希望があればぜひ受け入れたいと思います。(ぴい)



伐採にも挑戦！



木材の測り方を教わります



調査結果のとりまとめの様子



作業について説明を受けます



フオーダー(林業機械)も見ました